

整理番号 ○

発表者名：○○○○

所属：○○○○ ○○○○

抄録タイトル：外国人ゲストの急患に対する京都市内のホテル、病院、救急隊の対応についてのアンケート調査

【序文】

香港へ医療視察を行った際、ある救急病院では42ヶ国語の通訳ボランティアリストを用意するなど、国際都市にふさわしい旅行者に対する医療体制を整えているのを目の当たりにした。日本の中でも代表的な観光都市である地元京都の外国人旅行者に対する救急医療の受け入れ体制について調べてみた。

【内容】

方法：京都市内のホテルにメールや文書で外国人ゲストの急患対応について質問した。同時に受診を勧める病院名も尋ねた。前記ホテルに対するアンケートで回答に上がった救急病院などに、外国人への対応についてアンケートを行った。京都市消防本部に外国人観光客から救急要請のあった際の対応について尋ねた。回答・ホテル側：近くの救急指定病院を受診して頂く、必要に応じてホテルからスタッフが同行する、緊急時は救急車を要請し搬送先は救急隊に判断を委ねる、個人病院（医院）で丁寧な対応をして頂く施設がありよく紹介する、など。回答・病院側：外国人だからといって特別な対応はしていないという回答が半数以上を占めた。日本語での対応が原則であることを説明し場合によってはホテルスタッフに同行を願う、説明を十分に行う、自由診療であるため金額の提示をあらかじめ行う、など。回答・救急隊：「四カ国語対応救急現場活動シート」というものを積載し状態や既往症を指差しで示してもらえ、受け入れ先については直近の病院から順次当たっていく、その際に国籍・使用言語などの情報も伝える、など。またこれまで外国人だからといって受け入れ先の確保に困った印象はないと。またいずれの施設からの回答でも、外国人旅行者からのクレームはなかったとのことであった。

【結論】

病院として外国人旅行者に対し万全の受け入れ態勢を敷いている施設は少くホテル側で対応に苦慮しているケースも見られた。救急隊の対応としては少なくとも問題のない対応が行われていると考えられた。